

令和2年3月24日

関係各位

熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座
教授 片瀨秀隆

拝啓

熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建科学講座 尹 浩信教授の55歳という若さでの急逝の報に接し、心より哀悼の意を表します。尹教授とは教授会に加え、副病院長や病院長特別補佐を伴い、ご一緒させて頂く機会も多くありました。また、皮膚科には臨床面でも大変お世話になり、ここに深く感謝申し上げます。

パンデミックの語源はギリシア語の *pandemia* で、全ての人々を意味するそうです。3月11日、昨年暮れに中国湖北省武漢 Wuhan で流行が始まった新型コロナウイルスによる急性呼吸器疾患 (COVID-19) は WHO によってパンデミック相当と発表されました。COVID-19 を科学的に最初に発信したのは、SARS、新型インフルエンザ、MERS の時と同じく、医学週刊誌の最高峰である *New England Journal Medicine* です。1月24日に短報として中国から電子配信されています。私が大学院生だった1980年代、英文投稿して半年以上してようやく査読結果が郵便で届くのどかな時代とは隔世の感があります。その一方で、オープンアクセスが故にハゲタカジャーナルと呼ばれる粗悪学術誌が横行しているという深刻な別の側面もあります。毎朝40~50通の投稿を促す得体の知れない電子メールが届いているのは誰しも経験していることです。さらに、米国コールド・スプリング・ハーバー研究所が中心となって、査読前の新しい知見の迅速な共有やフィードバックを受ける” medRxiv ” というシステムが昨年立ち上げられました。2月26日に medRxiv に掲載された中国からの論文は意味不明でした。新型ウイルスに感染している35人の女性から採取した膣・子宮頸部の組織中にはPCR検査で全員が陰性という結果で、因みに彼女らのパートナーの43%も感染していたとのこと。確かに女性器粘膜にウイルスがないのは興味深いですが、まさに濃厚接触する性行動はそれ自体で感染するはずで、生死を彷徨っている感染者の何の役に立つのでしょうか。

4月と5月の予定表を同封致しました。国と熊本大学の指針に伴い、3月の熊本産科婦人科学会学術講演会と公開講座、教室歓送会の中止に加え、4月に予定しておりました熊本生殖内分泌プラクティスを延期、現地同窓会と教室歓迎会を中止しました。第72回日本産科婦人科学会学術講演会は、通常開催とともにWEB配信されることが決定しました。25日(土)の午前に指名されています特別講演は、会場で任を全う致します。

敬具